

## 新発田市 平成 29 年度 第 4 回定例記者会見

1 日 時 平成 29 年 7 月 4 日（火）午前 11 時～

2 場 所 ヨリネスしばた 501 会議室

3 内 容

- 国際食品見本市「<sup>フ</sup><sup>ー</sup><sup>ド</sup> <sup>台</sup><sup>北</sup> FOOD TAIPEI 2017」出展報告
- JOC オリンピック支援自販機の設置
- 日韓親善スポーツ交流大会
- 自衛隊員の保育研修受入れ
- 「新発田歓楽街環境浄化ローラー作戦」
- イクネスしばた「FM-NIIGATA ラジオ公開生放送『夏はしばたにイクネス！』」
- イクネスしばた「大倉喜八郎生誕 180 年イベント」
- 札の辻広場のイベント「サマーフェスティバル 2017」
- 札の辻広場のイベント「しばた軽トラ市」
- 札の辻広場のイベント「おいでよ！札の辻子ども広場」
- 「渦コン×Komachi 婚活サークル in せいらう」
- いきいき芸能発表会
- 「合唱のつどい」
- 「新発田市美術展覧会（市展）」出品作品募集
- 新発田出身アーティストセレクション「うたびと・ジョイントコンサート」
- 山形交響楽団新発田公演「シネマ・イン・クラシック&ベートーベン『運命』」
- 青少年健全育成市民会議「市民大会」・～わたしの主張～「新発田市大会」
- 青少年健全育成県民大会
- 男女共生市民講座「子どもと一緒にランチをつくろう」
- 広島平和記念式典への中学生の派遣
- 「夏の交通事故防止運動」に伴う街頭指導
- 住宅リフォーム支援事業の受付件数及び抽選結果

### あいさつ

- ご承知のとおり、6 月 25 日（日）に、市内の中学生が自ら命を絶つという、たいへん痛ましい事案が発生しました。
- 亡くなられたお子さんのご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様にご心よりお悔やみを申し上げます。

- 昨日、学校による初期調査に関して、「いじめが確認された」との報告を受けました。早い段階で生徒からのメッセージをキャッチし、対応することはできなかつたのか、非常に残念でなりません。
- 今後は、第三者委員会による調査が始まることとなりますが、一刻も早く詳細を明らかにし、再発防止と生徒の心のケアに努めるよう指示したところです。
- さて、以前の記者会見でもお伝えしましたが、当市では、総務省からの要請を受け、ふるさと納税の返礼品について見直しを検討してまいりました。
- このたび、返礼割合を 5 割から 3 割に引き下げることとし、10 月 1 日から実施することといたしました。
- 他市町村の動向などを参考に、地域経済への影響などを総合的に勘案し、最終的に国の意向を尊重して決定したものです。
- 今回の見直しによって、新発田市を発信するツールとしての役割が後退しないよう、PR 方法や返礼品の内容について、より一層工夫を凝らしていきたいと考えています。

**それでは、会見項目の説明とします。**

#### **最初に、「フード台北<sup>たいぺい</sup>2017」への出展について報告します**

- 前回の記者会見でお知らせしたとおり、6 月 21 日（水）から 24 日（土）まで、DMO 事業の一環として、台湾の台北市<sup>たいぺい</sup>で開催された国際食品見本市「フード台北」に、村上市・胎内市とともに参加しました。
- 期間中は、台湾内外から約 1,200 社が出展したほか、8,000 人余りのバイヤーが集まり、たいへんな活況を呈したとの報告を受けました。
- 出品した商品の中では、当市の「お砂糖なし大福」や「黒豆甘納豆」、缶詰のパン、村上市の鮭加工品などに興味を示す方が多く、約 40 のバイヤーと連絡先を交換することができたと聞いています。

○ 今後は、相手先への更なる PR と意向確認を行い、本格的な商談に向けた準備を進めることとしており、一つでも多くの商品が海外へ輸出されることを期待しています。

## 次に、スポーツの話題を 2 つ紹介します

○ 1 つ目は、6 月 15 日に市内に設置された、阿賀北地域では初めてとなる「JOC オリンピック支援自販機」です。

○ 「JOC オリンピック支援自販機」は、売り上げの一部が日本オリンピック委員会に寄付され、オリンピックを目指すトップアスリートの育成・強化に活用される清涼飲料水の自動販売機です。

○ 新発田駅に 2 台、アイネスしばたに 1 台、カルチャーセンターに 1 台、合計 4 台設置しています。

○ スポーツを通じたまちづくりに力を入れている本市としても、日本で開催される記念すべきオリンピックに貢献できることを、たいへん喜ばしく思っています。

○ 記者会見終了後の正午から、1 階の「札の辻広場」でアルビレックスレディースの高橋美夕紀選手<sup>たかはしみゆき</sup>、女子ゴルファーの石井理緒選手<sup>いしりお</sup>を迎え、設置に伴うセレモニーを行いますので、ぜひ取材をお願いします。

○ 2 つ目は、7 月 29 日（土）から 8 月 1 日（火）の間に行われる「日韓親善スポーツ交流大会」です。

○ これは、本市と友好都市である韓国議政府市<sup>ウイジョンブ</sup>が毎年交互に訪問し、両市の少年少女がスポーツを通じて交流するものです。

○ 37 回目となる今年は、議政府市<sup>ウイジョンブ</sup>から 54 名の選手団が訪れ、柔道、剣道、卓球の 3 種目でスポーツ大会を開催します。

○ 期間中は、スポーツ以外の交流体験も予定されており、子ども同士の交流はもちろん、両市の親交がより一層深まることを期待しています。

## 次に、自衛隊員の保育研修受入れについて

- 陸上自衛隊新発田駐屯地では、災害などにより緊急で登庁しなければならないようになった際に、臨時的に隊員の子どもを駐屯地内で保育することを計画しています。
- そこで、7月19日（木）に保育のノウハウを学ぶことを目的に、西園すこやか園で隊員の保育実習を行います。
- 当市では、まちづくりの重要な施策の一つとして子育て支援を掲げており、今後も、隊員の研修受入れや保育室設置のアドバイスを行うなど、隊員の皆さんが安心して任務に専念できる環境整備に協力することとしています。
- また、このような形で自衛隊との連携を深めることで、市民の安心・安全にもつながるものと考えています。

## 次に、歓楽街での環境浄化活動について

- 7月21日（金）に、新道地区を中心とした繁華街で「環境浄化ローラー作戦」を実施します。
- これは、新発田警察署や地区の防犯連絡協議会と協力して、不当な客引き行為や、暴力団排除、飲酒運転根絶を呼びかけるもので、全飲食店を訪問する「ローラー作戦」を行うのは、当市では初の試みです。
- 当日は、札の辻広場で出発式を行った後、いくつかの班に分かれてパトロールと飲食店の訪問を行います。
- 新道地区は、この市庁舎や地域交流センターに隣接しており、多くの一般市民が往来する地区でもあります。この取組を通じて、だれもが安心・安全に楽しめる繁華街になってほしいと思っています。

## 次に、「イクネスしばた」の1周年記念イベントについて

- 昨日7月3日に、イクネスしばたは、めでたく開館1周年を迎えました。これを記念して、前回の会見でお知らせした、小林さやかさんの講演会を皮切りに、そのほかに2つのイベントを予定しています。
- 1つ目は、7月15日(土)に行われるエフエム新潟の公開生放送「夏はしばたにイクネス！」です。
- 当日は、新発田高校出身の人気パーソナリティ・清野<sup>もと</sup>幹さんが進行役を務め、私自身も出演して、イクネスしばたの魅力を改めて発信したいと考えています。
- また、放送後には来場者全員にエフエム新潟のオリジナルステッカーをプレゼントする「ステッカーキャンペーン」も開催します。ぜひ、大勢の皆さんにご来場いただくとともに、放送を聴いていただきたいと思います。
- 2つ目は、当市出身の実業家・大倉喜八郎の生誕180周年を記念するイベントです。
- 7月23日(日)に、ホテルオークラ新潟のフレンチトーストの試食会を開催するほか、同ホテル自慢のパンを販売します。合わせて、「新発田と大倉喜八郎」と題して、新潟大学名誉教授の<sup>とみさわのぶあき</sup>富澤信明先生による講演会を開催します。
- また、7月15日(月)から8月16日(水)には、パネルや関連書籍を展示することとしています。
- この機会に、改めて多くの方に新発田が生んだ偉人・大倉喜八郎の功績に触れていただきたいと思います。

## 次に、「サマーフェスティバル2017」について

- 7月29日(土)の午後5時から、中心商店街を1,000メートルにわたって歩行者天国にし、飲食や物産ブースの出店、ライブ演奏など、様々な催しを行う「サマーフェスティバル2017」を開催します。

- 「サマーフェスティバル」は、新発田の夏の夜を彩る恒例のイベントとなっていますが、今年はヨリネスしばたの「札の辻広場」を全面開放し、商店街と一体化したダンス会場として活用するのが大きな特徴です。
- まさに、手続きに訪れるだけではなく、まちの賑わい創出にも寄与する、ヨリネスしばたの新たな活用法を提示するイベントです。
- 会場では、「はたらく車」の展示や職業体験コーナーなど、子どもが楽しめる催しもありますので、家族そろって参加していただきたいと思います。

このほかの情報としては、同じく「札の辻広場」を会場とする「しばた軽トラ市」や「おいでよ！ 札の辻子ども広場」、婚活イベントの第 2 弾となる「婚活サークル in せいろう」があります。

また、市民の皆さんが日ごろの活動の成果を発表する「いきいき芸能発表会」や「合唱のつどい」、「市展」の出品作品募集があるほか、文化会館の催しとして「うたびと・ジョイントコンサート」、「山形交響楽団新発田公演」が予定されています。

さらに、青少年健全育成の推進に向けた「市民大会」と「県民大会」があるほか、男性の保護者が子どもとランチを作る「男女共生市民講座」、恒例の「広島平和記念式典への中学生の派遣」、「夏の交通事故防止運動」に伴う街頭指導があります。

最後に、「住宅リフォーム支援事業」の受付件数と抽選結果の資料を配布しました。

ぜひ、1 つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市を盛り上げていただきたいと思います。

## 定例記者会見質疑応答概要

### 「FOOD TAIPEI（フード台北）」への出展について

新潟日報 実際に成約したという話は入っていないのか。

市長 まだ聞いていないが、40社ほどに興味を持っていただいた。それを受けて、さっそくパンフレットなどを含めた新発田市の情報を送るよう、課長に指示したところである。まだ連絡中で返答はないが、随時積極的に連絡を取っていきたい。以前にお伝えした新発田産のコシヒカリの価格はほぼ決定した。平成28年産米が、8月にスーパーの店頭に並ぶことを目途に取り組んでいる。平成29年産米はこれからで、20トンくらいである。これを糸口にして、新発田の農産品を送る起爆剤にしたいと思っている。これがスーパーに並ぶことによって、先ほど申し上げた「お砂糖なし大福」や缶詰のパンなど、いろいろな商品を送れるのではないかと。

### 自衛隊員の保育研修受入れについて

北陸工業 駐屯地がやって、市は研修などに協力するということか。

市長 その通り。出動命令があった時に、急を要するため、「隊舎内保育」をしようということ。その時の保育のノウハウなどを市から学びたいということである。

北陸工業 「子育てするなら新発田」というまちにあるべき活動ということか。

市長 その通り。今まではその点で自衛隊との関わりはなかったが、駐屯地の中でそれをやろうということ。もともと隊員は保育士の資格があるわけではなく、ノウハウもないので、西園すこやか園で勉強しようということである。

北陸工業 施設を整備するのではなく、自衛隊の中の一室を緊急的に保育室にする可能性があるということか。

市長 そこまでは聞いていないが、まずはノウハウを勉強するという  
ことである。

新潟日報 隊員が保育士の資格を取るところまではいかないのか。

市長 そこまではいかないのではないかと。そこで研修をしたからとい  
って、保育士の試験を受けられるわけではない。資格を取るに  
は、それなりの教育機関へ行く必要がある。

## 加治川治水ダムの放流事故について

新潟日報 この事案を市長としてはどう見ているか。滝谷森林公園から川  
への立ち入りを禁止する措置をとったが、今後の対応について、  
どう考えているか。

市長 全く驚いている。緊急放流については、今までも通告があった  
ので、それに対応していた。普通放流の場合でも、協定では通  
告するという事になっていたが、その協定が守られていま  
かったということの後から知った。市民の安心・安全を守ると  
いう立場から、県が 30 年もそのようにしてきたことは、実に  
残念だと思っている。まだ立ち入り禁止は解除していないが、  
この問題に対する整理ができ次第、県から改善に関する協議が  
あると思う。それを受けて、解除に向けて検討したい。

新潟日報 今のところ具体的に何か進んではいけないのか。

市長 今のところ、県から正式には何もきていない。一応のガイドラ  
インの話は聞いたが、「こうしたい」ということではないので、  
きちんと協議してからやりたいと思っている。まだ川に入る時  
期ではないが、議会からも早く解除してはどうかとの声もあり、  
それには応えたいと思うが、安心・安全が一番大事であるので、  
その担保が取れるまでは様子を見たいと思う。



## ふるさと納税について

新潟日報 返礼品を3割にするということだが、どのように引き下げるのか。

市長 国からの指導が、10月1日付けということになっているので、それに合わせて、事前に今までふるさと納税を収めていただいた皆様には、新発田市の意向を郵送で伝える。同時に、5割から3割にはなるが、新たな商品もあるということを含めて案内する。今のところ、落ち込みはないが、10月以降どうなるか分からない。駆け込み需要があるかもしれないので、10月1日までは伸びるかもしれないが、10月1日以降、どこまで下げられるか、これは工夫次第である。

新潟日報 例えば、返礼品の金額を引き上げるとか、返礼品の量を減らすとか、その辺りはどうか。

市長 そのことを含めて工夫したいと考えている。当面は、告知をする。10月1日から3割になるが、こういう新しい商品もあるということを知らせる。その後、どう工夫するかは検討中である。

## 市内中学生の自死事案について

朝日 昨日の教育長などの会見では、遺族が学校の初期調査には十分満足していないということを学校側に話しているとのことだったが、それについてはどう考えるか。

市長 教育委員会に対しては、これから第三者委員会もあるが、しっかりと迅速に、ただし、ご遺族のお気持ちもあるので、そこにもしっかりと対応するように指示したところである。若い命、尊い命を自ら断つということ、そのことを未然に防ぐことができなかったということは慙愧に堪えない。改めてご冥福をお祈りしたい。